

リサイクル部品のCO₂削減効果

はつきり数値化

NGPが独自システム

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合（佐藤幸雄理事長）は5日、リサイクル部

品の二酸化炭素（CO₂）排出削減効果を数値化する独自システムの運用を開始すると発表した。新品部品を使用した場合と比較したCO₂削減数値を納品書や請求書などに明記することで、リサイクル部品の環境貢献性を一般ユーザーや自動車整備事業者などに訴求する。同協組はシステ

ムを通じて、リサイクル部品の信頼性を高め利用拡大につなげる考えだ。

CO₂の削減数値については明治大学や富山県立大学と組み、産学協同研究として2013年から進めてきた。数値は部品の重量や構成する素材を元に、使用されている車両モデルの重量や排気量なども考慮して部品ごとに算出している。

公開する方針。第一段階では主要な売れ筋部品の上位50部品の数値データを公表する。今後公開対象の部品は拡大していく。

算出したデータはNGPが手がける部品システムの見積書や納品書、請求書などに印刷できる。取引する整備事業者や損害保険会社にも目に見える形で提供することで、リサイクル部品の環境負荷低減効果をPRする。

また同時に一般ユーザーを対象とした啓発活動の強化にも着手。共同研究を幅広く周知するため、研究の概要や成果などを盛り込んだ専用のホームページを開設。NGPブランドとしてリサイクル部品に付与してきたギャランティシールのデザインや環境啓発ツールも一新し、認知向上につなげる。

算出方法や削減数値は原則

にある。